

茨城大学・日立市かみね動物園・千葉市動物公園 3機関連携動物園学紀要
「ZOO SCIENCE JOURNAL (ズー・サイエンス・ジャーナル)」が創刊！
～創刊を記念したシンポジウムも開催されます～

茨城大学・日立市かみね動物園・千葉市動物公園の3機関で構成するZOO SCIENCE HUB (ズー・サイエンス・ハブ)によるZSH動物園学紀要「ZOO SCIENCE JOURNAL (ズー・サイエンス・ジャーナル)」を刊行しますので、お知らせします。

また、紀要の創刊を記念したシンポジウムが茨城大学で開催され、基調講演には日本動物園水族館協会の村田浩一会長が登壇しますので、併せてお知らせします。

1 ZSH動物園学紀要「ZOO SCIENCE JOURNAL」

(1) 刊行目的

動物園が自然科学の研究教育拠点として“種の生態学的解明”や“飼育技術の確立”等に貢献するために、動物園職員が日常的に実施している技術的工夫や教育活動などの情報を広く公開する媒体として、学術紀要「ZOO SCIENCE JOURNAL」を創刊します。単機関ではなく機関をまたいだ動物園の学術紀要は、国内初の取り組みです。

(2) 当園関連記事(4本)

- ア ミーアキャットの夜間放飼による群を維持するための取り組み
- イ 給餌方法の変化によるアカハナグマの行動への影響
- ウ カリフォルニアアシカの自然離乳と仔の自力採食を促す飼育管理法の検討
- エ 相互交流可能なオンラインツールを使用した教育プログラム「ずーろじラボ」の学習効果

(3) 公開方法および公開日時

オープンアクセス方式(千葉市動物公園公式ホームページからアクセス)とし、公開日は今年度内を予定しています。

2 「ZOO SCIENCE JOURNAL」創刊記念シンポジウム

(1) タイトル

動物園から未来をつむぐ～持続可能な社会に向けて記録して伝えること～

(2) 日時

令和6年3月25日(月) 13:00～16:05

(3) 場所

茨城大学農学部講義棟100番教室(茨城県阿見町中央3-21-1)

(4) プログラム

時間	内容	登壇者 (敬称略)
13:00～13:05	開会の挨拶	日立市かみね動物園 園長 生江 信孝
13:05～13:10	大学の挨拶	茨城大学農学部長・教授 宮口 右二
13:10～13:30	創刊趣旨の説明	茨城大学農学部・准教授 小針 大助
13:30～15:30	基調講演 「動物園における研究の意義」	(公社) 日本動物園水族館協会 会長 村田 浩一
	連携プロジェクトによる講演 「学生教育と動物園の研究利用の利点」	茨城大学工学部 教授 北野 誉
	連携プロジェクトによる講演 「飼育の知を絶やさないために —記録を残す重要性—」	日立市かみね動物園 獣医師 川瀬 啓祐
	連携プロジェクトによる講演 「動物園の記録を市民へ伝え広める」	千葉市動物公園 研究員 中山 侑
15:30～16:00	総合討論	上記登壇者
16:00～16:05	閉会の挨拶	千葉市動物公園 園長 鎬木 一誠

<参考>

1 ZOO SCIENCE HUB (ズー・サイエンス・ハブ) について

茨城大学と日立市かみね動物園・千葉市動物公園の研究教育連携プロジェクトです。本プロジェクトでは、日立市かみね動物園・千葉市動物公園を軸として動物園を利用した研究・教育活動を推進しています。

※ZSHの詳細は、下記ホームページをご確認ください。

【URL】 <https://dklabo.wixsite.com/izsh>



2 学術紀要について

学術紀要は、大学や研究所が研究成果を収録した論文集です。ブログや SNS などのニュース媒体を通じた情報発信とは異なり、学術情報媒体としての信頼性が担保されています。